

体育功労者賞

【柔道】

高田 和夫 (72歳)

静岡県柔道協会 副会長

*富士市 在住

1975年から高等学校教員として主に部活動において、文武両道・精力善用・自他共労の精神で、静岡県内の高校生の競技力向上と人材育成に努めた。また、静岡県柔道協会理事・副理事長を永年務め、国体強化選手を育成するなど、柔道の普及・発展に貢献している。

【剣道】

吉村 勝 (77歳)

一般社団法人静岡県剣道連盟 会長

*御前崎市 在住

2007年から静岡県剣道連盟理事として青少年の選手強化において手腕を発揮し、自らも活躍した剣道競技の指導に努めた。2015年に会長に就任し、全国大会を成功に導いたほか、同連盟の組織改善・発展にも尽力している。また、少子高齢化の中、子どもや女性への啓蒙活動により剣道普及へ多大な功績を挙げた。

【アイスホッケー】

伊藤 修 (76歳)

静岡県アイスホッケー連盟 会長

*浜松市中央区 在住

1970年に浜松アイスホッケークラブ、1985年に女子、1987年にジュニアのクラブ創設に携り、監督として永年にわたって競技の普及・振興に努めている。また、1986年の静岡県アイスホッケー連盟の立ち上げ、その後の組織運営と発展に尽力するなど、静岡県のアイスホッケー界において功績を挙げている。

優秀指導者賞

【馬術】

浅川 信正 (68歳)

特定非営利活動法人静岡県馬術連盟 副会長

*静岡市葵区 在住

2008年から（一社）日本障がい者乗馬協会の理事に就任。
2012年に出場したロンドンパラリンピックを最後に競技選手を終了、その後は障害飛越、馬場馬術、障がい者馬術の競技指導に専念している。
2016年から2年5カ月、ナショナルコーチを務めた。
高い専門性と情熱を持って、障がい馬術競技の普及に貢献している。